

## プレスリリース

 ボイラ・厨房機器用 燃焼排ガス(O<sub>2</sub>・CO)分析計  
「testo 327」シリーズを新発売

株式会社テストー(横浜市港北区 ゼネラルマネジャー 野中通孝)は、2007年9月に、燃焼排ガス分析計「testo 327」シリーズを新発売します。本製品は、「testo 325」シリーズの後継機種で、ボディデザインと操作性を一新。手になじみやすいテストー独特のデザインシェイプに加え、バックライト付大画面ディスプレイを採用。起動時間も30秒に短縮されました。ボイラや厨房機器の保守、メンテナンス業務に適した排ガス分析計です。

ガスヒーティングやボイラなど、熱供給機器の燃焼排ガスチェックは、安全対策面・省エネルギー対策面に於いて必須の業務となっています。「testo 327」は、燃焼後の酸素(O<sub>2</sub>)や一酸化炭素(CO)などの排出ガス濃度\*を計測するハンディタイプの分析計です。(\*O<sub>2</sub>・COは実測。CO<sub>2</sub>は演算にて表示。) 設定燃料は、13A・6C・LPG(プロパン)・ブタン・灯油・軽油・A重油・C重油の8種類。操作性のよい対話式メニューを採用しました。O<sub>2</sub>センサ、COセンサは、ユーザ自身による交換が簡単にできる構造になっています。さらに、充電式バッテリーにリチウムイオン電池を採用したことで長時間稼動が可能になりました。また、ガスサンプリングの際に発生する凝縮水のドレンタンクも内蔵されており、簡単に排水ができます。本体はエラストマー(合成ゴム)素材のプロテクター体型で、耐衝撃性も向上しました。このプロテクタは取り外しができ、取り外し後は洗浄が可能です。本体背面には固定用マグネットもついています。

「testo 327」の排ガス計測用プローブは、従来品と比較して簡単に本体装着ができるように改良。ハンドル内部にはフィルターがついており、シャフト(プローブパイプ)から吸引されたガスが本体へ送られる前に、ホコリや汚れを除去します。排ガスプローブのシャフトの長さは、180mmのもの、300mmのものがあります。この他、屈曲が可能なフレキシブルタイプの排ガスプローブもあります。本体、プローブ、プリンタなどをまとめて収納できる専用アタッシュケースもありますので、持ち運びにも便利です。セット内容は以下の通りです。

品名	用途	価格(消費税別)
testo 327-1 O <sub>2</sub> セット	O <sub>2</sub> 計測	¥156,500
testo 327-1 COセット	CO計測	¥161,500
testo 327-1 O <sub>2</sub> 、COセット	O <sub>2</sub> 、CO計測	¥183,500
testo 327-2 O <sub>2</sub> 、COセット	O <sub>2</sub> 、CO計測	¥249,500
testo 327-2 O <sub>2</sub> 、CO(H <sub>2</sub> 補償付)セット	O <sub>2</sub> 、CO計測	¥280,500

- ※ 共通する付属品: testo 327 用排ガスプローブ(シャフト径6mm・長180mm、耐熱+500℃)  
 /ACアダプタ/電源コード/アタッシュケース
- ※ 上記セット品以外に、専用プローブやアクセサリ、本体のみの販売もします。その他、お問い合わせにつきましては、株式会社テストー営業部で承ります。



↑ testo 327-2 本体(左) プロテクタ有  
 排ガスプローブ(右)



株式会社テストー 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 7F URL: <http://www.testo.jp>  
 ・プレスリリースに関するお問い合わせ: マーケティングコミュニケーション (TEL:045-476-2545)  
 ・商品に関するお問い合わせ: 営業部 (TEL:045-476-2288) ←記事にはこちらを記載して下さい。  
 ※ 製品の画像データをご希望の場合は、弊社マーケティングコミュニケーションまでご連絡をお願いします。